



みつくら



《 北米産大豆 》

○13/14年 世界大豆生産予測・需給予測

米国農務省が6月12日発表した、13/14年度の2回目の世界及び主要国の大豆生産高予測によれば、生産量は、米国で高温・乾燥により収穫が減少した前年度と比べて12.4%増加し、史上最高、ブラジルでは収穫面積の増加により史上最高、アルゼンチンで高単収と史上最高の作付面積により、増加となることなどから、世界全体で前年を上回る見込みとなっています。

また、消費量もアルゼンチン、中国、米国等で増加しますが、世界全体の生産量は消費量を上回り、期末在庫は前年度より増加する見込みとなっています。

生産量	2億8,530万t	(対前年比	6.6%増)
消費量	2億7,015万t	(対前年比	4.3%増)
期末在庫量	7,369万t	(対前年比	20.4%増)
期末在庫率	27.3%	(対前年度差	3.7ポイント増)

○2013年産アメリカ穀物作付進捗状況

米国農務省の調査によれば、米国では5月26日から6月1日の期間で中部主要産地で激しい雷雨となり、農作業を中断せざるを得ない状況となった模様です。また局地的に強風によるダメージもあったとのこと。

コーンベルト東部では嵐が発生する前にほぼ作付を完了したとのことですが、中西部では大豆を含む作物の作付がなかなか進まず、まだ多くの土地で作付作業が残っている状況です。

作物別の作付状況を見るとトウモロコシの作付は1日までに91%完了し、前年比で9ポイント、過去5年比で4ポイント遅い進捗となっています。大豆の作付は、2日までに57%完了しましたが、前年比36ポイント、過去5年比で17ポイント遅い進捗で、96年以来の遅いペースとなっています。また、2日までの大豆発芽率は、18州平均で31%、前年比45ポイント、平年値では18%下回っている状況です。



《 国産大豆 》

○平成24年産大豆・5月の入札結果

5月31日に発表された5月の入札結果によれば、普通大豆では、先月平均価格より約440円上昇となっています。先月に引き続いて福岡、佐賀フクユタカの引き合いが強まり、九州・東海フクユタカを中心に、西日本の銘柄はほぼ全量落札され、東日本でも秋田リュウホウで先月より約360円、山形エンレイで約200円上昇し、大粒の代表銘柄を中心に高い落札率となり落札量は5,746tとなりました。落札率は88%と入札終了予定の7月まで高い落札率、値位置を維持していきそうな気配です。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



みつくら



24年産大豆落札状況

入札月	上場数量	落札数量	落札率
12月	3,614 t	1,822 t	50%
1月	8,318 t	5,129 t	62%
2月	8,947 t	6,301 t	70%
3月	17,201 t	12,792 t	74%
4月	7,392 t	6,459 t	87%
5月	6,547 t	5,746 t	88%
合計	52,019 t	38,249 t	74%



《 トピックス 》

○カナダ大豆生産予測

カナダ農務・農産食品省がこのほどまとめた2013年産の大豆生産予測は、前年比10.3%となる174万haを予測する一方、生産量では単収が前年より落ち、2.60 t/haを予測（前年2.94 t/ha）し、前年比10%減の445万t（前年493万t）を見込んでいます。期末在庫は25万tで前年と同水準との予測ですが、輸出量は同16%減少し、270万tを見込んでいるとのことです。

○中国大豆生育状況

2013年産中国大豆の6月9日時点での生育状況ですが、主産地の黒竜江省では、冬期の大雪と春先の低温による影響で作付が遅れましたが、大部分は5月31日までに終了しました。齊齊哈爾、佳木斯、黒河、牡丹江の各地区では発芽率は90%超、株丈は約5センチとなっており（過去3年平均、同時期で株丈約8センチ）、作付が遅れた影響が若干見られているようです。

佳木斯地区



齊齊哈爾地区



三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>